青木町々民諸賢に訴ふ（今晩近藤高氏邸訪問の事情）

私達は今晩突然皆様の御近所にお住みなる近藤高氏邸を訪問致しました、恐らく此の事態に不審なる諸賢には甚だ不安を感ぜられた事と存じます。実は近藤高氏は御承知の如く府下蒲田町所在東京亜鉛鍍金株式会社の支配人であって同社には職工二百余名が他の会社の為めに危険なる作業に於て安い賃金にて働いて居るのであります。然るに会社は不景気の理由として職工二十八名を理由も示さずに解雇せんとしたのであります。私達労働者にとっては一日も早く死ねと云ふ事と同じであります。職工諸君にとっては大変な事であって私達の問題なのであります。町民諸賢よ！諸賢は大正十三年の大震災を記憶せられるでありませう。実に其の時以来の我々労働者は仕事もなく喰ふに食なきの時に東京亜鉛鍍金会社のために生活を捧げて来たのであります。そして高い賃金を得て多数の人々が会社の利益の為に働いて来たのであります。かかる暴虐なる会社の解雇手当を制定するにあたって吾々は支部要求を掲げて会社に近藤支配人と折衝するに近藤支配人は何等の理由なく要求を見もせず発表と同時に解雇当日人としたのであります。故に私達は一月十五日職工大会を開き解雇撤回を主の他を加へ十六箇條の要求を決議し提出したのであります。

然るに支配人近藤高氏は誠意にも私達の最低限度の要求も支払ふ拒否発表を致し総罷業を余儀なくせられた。私達要求書を三十日まで提出し発表したのであります。近藤支配人の発表したるものは到底私達の満し得るものではありません。更に支部委員を馘首して私達支部の要求組織を切り又に近藤支配人は断然拒絶しあまつさへ要求の発表と同時に二十七名を解し遂に四十名を解雇したのであります。故に従業員全部は之に憤慨し已むなく同盟罷業を決行して目下解雇者の復職の為に戦って居るのであります。

敬愛する町民諸賢よ！私達は此の責任者たる近藤高氏を今晩訪問し三百名の労働者とその家族の為に此の解決を見るまでは幾度でも近藤氏邸へ押しかける決心であります。何卒事情御了承の上御声援あらん事を切望する次第であります。

一九二五、十二月二十日

日本労働総同盟東京鉄工組合
大島第一支部
東京亜鉛鍍金株式会社争議団本部